

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	ベンチャービジネス概論		
英文授業科目名	Introduction to Venture Business		
開講年度	2007年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	情報工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	三木 哲也		
居室	総合研究棟 1021		

公開E-Mail	授業関連Webページ
miki@ice.uec.ac.jp takeuchi@crc.uec.ac.jp	http://uec.atuniv.jp

【主題および達成目標】
<p>グローバル化、情報化の進展にともない、産業は大きな変革期にある。産業系列や地域割りによる安定的な企業の棲み分けの時代は終わり、企業は世界的な競争環境の中で、世界をリードする新製品、新システムを開発し、常に新しいビジネスを企画していく力が必要となっている。このような産業環境では、大企業が必ずしも安泰ではなく、一方ベンチャー企業がやり方次第でイノベーションの担い手になる機会も増えている。すなわち、これからは企業の規模にかかわらず、起業家精神あるいはベンチャーマインドが非常に重要な時代である。</p> <p>米国では、ベンチャーマインドを持った優秀な学生が、卒業後率先してベンチャー企業に入ったり、自身で企業を起こすことでイノベーションの創出、新たな産業の創出に貢献しているが、日本では依然として大企業指向の学生が多い。</p> <p>この「ベンチャービジネス概論」は、将来自ら起業を志そうという学生のみならず、大企業への就職を考えている学生にとっても、起業家精神を涵養し、失敗を恐れず新しいことに果敢に挑戦するベンチャービジネスの重要性について、理解することを目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

電気通信大学 平成19年度シラバス

【教科書等】

講義資料は、Webページにて提供する。

遅くとも講義日の12:00までに当日の教材が見られるようになるので、それを必要に応じてダウンロードして、印刷して持参するのが望ましい。

【授業内容とその進め方】

授業計画を以下に示す。

- 10月 2日(火) ガイダンス 三木 哲也
- 10月 9日(火) 「ベンチャーの基礎知識」 竹内 利明
- 10月23日(火) 「東京都学生起業家選手権」竹内 利明
- 10月30日(火) 起業体験プログラム(1) シミュレーションソフトによる演習
園田 雅江 氏((株)gusiness 代表取締役)
岡部 節 氏((株)gusiness 取締役)
- 11月 6日(火) 起業体験プログラム(2) シミュレーションソフトによる演習
園田 雅江 氏(株)gusiness 代表取締役)
岡部 節 氏((株)gusiness 取締役)
- 11月13日(火) 起業体験プログラム(3) シミュレーションソフトによる演習
園田 雅江 氏((株)gusiness 代表取締役)
岡部 節 氏((株)gusiness 取締役)
- 11月20日(火) 前田 隆正 氏(三鷹市情報政策コーディネーター, 元NTT)
「大企業の社員にも求められるアントレプレナーシップ」
- 11月27日(火) 嵐 保憲 氏(株式会社ワイズノット 代表取締役社長)
「新ビジネスドメインにおける経営のあり方」
- 12月 4日(火) 床次 隆志 氏(株式会社アルチザネットワークス 代表取締役社長)
「VBがデスパレーを渡りきるための真のアントレプレナーシップ」
- 12月11日(火) 講師未定
- 12月18日(火) 村口 和孝 氏((株)日本テクノベンチャーパートナーズ 代表取締役)
「演題未定」
- 1月 8日(火) 黒江 春海 氏(クロニクス(株) 代表取締役)
「ベンチャービジネスの立ち上げ」
- 1月15日(火) 安田 耕平氏((株)キャンパスクリエイト代表取締役・客員教授)
パネルディスカッション 「演題未定」
- 1月22日(火) 松永 明 氏(経済産業省製造産業局自動車課長)
「創業ベンチャーの課題とその対応策」
- 1月29日(火) 期末レポート課題の出題 三木 哲也

電気通信大学 平成19年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

・成績評価法：

出席・受講態度(30%)、毎回のレポート(30%)、期末レポート(40%)を総合して評価する。質問は内容に応じて加点(上限1質問当たり10点)する。受講態度は、授業中に寝ていると疑われる場合、および授業中に授業以外の作業を行っていると思われる場合は大きな減点要素とする。(1回の出席で得られる出席点以上の減点)

・評価基準：

講義を通して、以下の観点での理解度を評価する。

- ・日本の産業環境の実情、ベンチャービジネスの必要性、ベンチャー創業と経営の課題、ベンチャー企業家の志し、など。
- ・自らの起業家精神についての自己理解。

【オフィスアワー：授業相談】

下記の2名の教員が対応する。時間帯は特に設けていないが、いつでもメールでアポイントメントを取って相談にきてほしい。

担当教員：情報通信工学科 教授

三木哲也(総合研究棟10階1021号室：内線5195) miki@ice.uec.ac.jp

連絡教員：産学官等連携推進本部 客員教授

竹内利明(共同研究センター302号室：内線5785) takeuchi@@crc.uec.ac.jp

【学生へのメッセージ】

E科、T科、H科以外の学生の聴講も歓迎する。

【その他】

<履修上の注意>

- ・授業の出席は携帯電話または各自のパソコン(LANケーブルも持参のこと)を使います。なお、携帯電話の通信料等は、各自の負担となりますので、事前に了承のうえ履修してください。
- ・講義の資料は、当日の12時までにWeb(<http://uec.atuniv.jp>)にPDFで掲載しますので、プリントが必要な学生は、各自でダウンロードし印刷して持参してください(教室で印刷物は配布しません)。授業に出席して登録すると、ウェブサイトアクセスして資料等がダウンロードできるようになります。
- ・演題及び講師は都合で変更することがあります。